

Family 382号

2018年 5月

東北支部(福島県)

- ◆特集 FUJITSUファミリー会 支部特集
- ◆ICT基礎講座 働き方改革のカギとなる「RPA」
- ◆トップは語る 地域を盛り上げる信金として 期待に応えたい
- ◆講演録 目線を変えれば見えてくる!～テレビ番組制作の舞台裏～
- ◆From福島 地域の伝統を未来へつなぐ相馬野馬追



がんばろう!
九州

- FUJITSUファミリー会 2
支部特集 ほか
- ICT 基礎講座 Close-Up 6
働き方改革のカギとなる「RPA」
- トップは語る 10
渡島信用金庫
理事長 伊藤 新吉 氏
- 講演録 12
NHK 編成局コンテンツ開発センター
チーフ・プロデューサー
尾関 憲一 氏
- HUMAN HUMAN 14
フリーライター
公益社団法人日本山岳ガイド協会
認定登山ガイド 柏 澄子 氏
- Family's Information 15
- 支部見聞録(東北支部) 18
From 福島



表紙のことば(日本の鳥シリーズ)
東北支部
キビタキ(福島)

日本全国に初夏を告げる渡り鳥。全長13~14cmの小さな体を支える足は折れそうなほどに細いですが、木々に留まるために指と爪が体長に比べて長めになっています。
福島県鳥で、また県の復興シンボルキャラクターにもなっているキビタキは、華やかな色彩と明るく美しい歌声を持つことから、1度見たらファンになってしまう人も。

FUJITSUファミリー会

支部特集

2018年度の活動に向けて

北海道支部

原点回帰で、目指せ300会員!!



山田 隆一 支部長
北海道ガス(株)

支部長就任以来、魅力ある行事を目指し、女性セミナー企画委員会の立ち上げ、親子deイベントなど、様々な活動を行ってまいりました。その結果、過去最高で

を回ってまいります。

また今年、富士通北海道支社が70周年を迎えるのに合わせて、新規入会70社という非常に高い目標を掲げました。この目標を達成するため、充実した入会促進キャンペーンを準備しました。富士通並びに富士通マーケティングと連携を密に取りながら、会員拡充を図っていきたくと考えております。是非とも社員の育成や女性活躍推進に本活動をご利用ください。



小林クリエイト(株) 瀬古美菜子氏
2016年度優秀論文を発表「ワークライフバランス実現に向けた支援とは」(働き方改革セミナー)

延べ2,000名に参加いただきました。

2018年度は、さらに魅力ある行事を目指し、各行事の徹底した質の向上

東北支部

継続は力なり！人財は宝なり！ 東北の未来に向けて人間力を高めます



小野木 克之 支部長
(株)河北新報社

2017年度、東北支部は会員数「300」を達成し、会員の輪と和を繋ぐ実りの年となりました。3月6日の支部総会では、スライドを使った説明により各種活動と300会員達成を報告、ご参加の皆様と委任状をもってすべての議事が承認されました。記念講演では、富士通トップフォーラム共催で増田明美氏を講師に招き、

アスリートと指導者を例に、結果を残せる人財の育て方について講演いただきました。レセプションでは増田明美氏もご参加くださり、講演で聴き得なかった話題に花が咲き大いに盛り上がりました。

2018年度の東北支部は、より一層の人間力とICTスキル向上を目指し“人”を大切に活動してまいります。

東日本大震災から7年が経つ東北の地で、築いた絆で未来にタスキをつなぎ続けます。



スライドを用い 2017 年度活動報告

信越支部

会員満足度アツヘGO！ ～秋季大会は長野でお待ちしています～



赤沼 正信 支部長
オリオンシステム(株)

2018年度秋季大会は長野県で開催されます。1998年長野オリンピックから早20年、記念すべき年に秋季大会開催へ向け役員一同一丸となり開催準備を進めています。

ています。

支部活動は、信越支部の特徴でもある分科会活動が昨年記念すべき30年を迎え、50年継続行事に向け活動を開始します。会員の拡大と参加機会拡大を強化してまいります。また役員も新たに一名加わり、継続行事や新しい切り口での行事も盛り込みます。

皆様の各行事へのご参加を心よりお待ちしております。



第30回記念 長野 / 新潟合同分科会 in DTC

FUJITSUファミリ会は、会員の方々の「異業種交流」「情報収集」「人財育成」の促進を目的に、様々な活動を展開しています。2018年度の活動に向け、各支部からのメッセージをご紹介します。

関東支部

ビジネスに活かせる力を身につける場として、様々な活動を展開します！



貝塚 真樹 支部長
(株)インフォテック朝日

2018年度より関東支部長を拝命いたしました。関東支部は11支部の中で最大規模であり、その支部長を拝命したことに、重い責任を感じますとともに、皆様と共に盛り上げてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

関東支部は、「経営幹部支援・リーダー層の人財育成」、「異業種交流促進」、「コミュニケーション力」をポイントとして、本年度の活動を展開してまいります。

ICTに関する知識は、今やインターネット等様々な場面で入手できますが、常に最新の情報を入手し、知識をビジネスに活かすことができなければ、意味がありません。

ICTの最新情報の収集はもとより、それらをビジネスに活かす力をつける場として、関東支部の活動を積極的にご利用いただきたいと思います。



関東支部総会 2017年度行事 ICTリーダー研究会 研究成果報告より

東海支部

幅広い行事開催により、会員の参加機会拡大を目指します！



風間 隆男 支部長
(株)静岡新聞社・静岡放送

支部長就任2年目を迎えました。昨年、延べ行事参加者数は2,400名を超え、会員参加率は75.5%といずれも過去最高の結果となり、大変多くの方にファミリー会行事にご参加いただくことができました。

2018年度は、以下の3つのポイントに基づき活動を推進します。

1. ICTの情報提供や企業の成功事例ご紹介
2. リーダー、若手、女性の育成と交流
3. インターネットを利用したサービス向上

新たな取り組みとして、まず、「ビジネススキルアップ研修」の対象にリーダーを加え、リーダー育成の支援に注力します。また、自席で受講できる「Webセミナー」をトライアルで開催し、外出が難しい会員の方にも気軽に参加していただける企画に取り組みます。

皆様の積極的なご参加をお待ちしております。



支部総会
風間支部長ご挨拶

北陸支部

2018年度も多数のご参加をお待ちしております！



三谷 忠照 支部長
三谷産業(株)

2018年度も引き続き、支部長を務めることとなりました三谷産業(株)の三谷忠照です。昨年度は初の試みとして、本部支部イベント問わず、多数ご参加いただいた会員様を表彰するマイスター制度を行いました！北陸支部総会内で1位から3位まで表彰し、会員皆様のファミリー会活性化を推進しております！

来年度もまたマイスター制度に伴いさらなる活性化を目指し、今まで以上に人材育成セミナーやオンラインで配信しているICTセミナー、実機を利用したICTセミナー、女性・男性向けセミナー等、魅力的な行事を実施いたします。さらに活動内容も充実し、会員満足度アップを目指してまいります。今後とも北陸支部をどうぞよろしくお願い申し上げます。



北陸支部総会
ファミリー会マイスター表彰

関西支部

「リーダー層の交流・研鑽」「女性の活躍推進」を軸に、関西支部の魅力UP↑を目指します。



有司 順一 支部長
近鉄情報システム(株)

2017年度の関西支部は、若手会員向けの「データベース」「ネットワーク」「セキュリティ」などのICT系の入門研修が人気を集めました。さらに、「オブジェクト指向」「仮想化/クラウド」「AI」のテーマを加え、メニューの充実を図りました。年間総参加者数は、延べ4,300名を超えました。

2018年度は、リーダー層の課題解決の場として「イノベーションフォーラム」を新設し、人的ネットワークづくりの支援を図ります。また、女性の活躍推進として「レディースフォーラム」を企画・運営する「女性サポーター委員会」のブラッシュアップも計画。会員交流では、「イブニングセミナー」や「親子セミナー」を開催して多彩な活動を目指します。

関西支部役員が一丸となり、より一層“活動の魅力UP↑”を目指してまいります。ぜひ、会員の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。



関西支部総会 特別講演
講師：野球解説者 金村 義明氏

2018年度の活動に向けて

中国支部

松本 和久 支部長
(株)サタケ

皆様とともにさらなる活性化を目指します！

2018年度より支部長を務めることになりました(株)サタケの松本です。

昨年度は秋季大会を大盛況に終えることができました。ご尽力いただいた会員の皆様、全国からご参加いただいた会員の皆様に深く感謝申し上げます。

2018年度の中国支部は、オンライン型、実践型のセミナーを継続し、IoT/AIなどのICT最新動向や先進活用事例の情報習得機会の充実を図ります。さらに、ビジネススキルの向上に役立つ講座を増やしてまいります。

次に、毎年ご好評いただいている若手・中堅の合宿研修や実務者勉強会に加え、親睦会の新たな行事や地区別ニーズに対応した行事を増やし、会員相互のコミュニケーション強化を進めます。また、女性セミナーや親子イベントでも新たなメニューを企画し参加者の裾野拡大を図ります。

魅力あるユーザー会となるよう務めてまいりますので、皆様どうぞよろしくお願いたします。



若手人財育成塾（合宿型研修）

九州支部

飯屋 博 支部長
(公財)産業雇用安定
センター 熊本事務所

九州はひとつ!! 目指せ400会員!!

2017年度は、オンラインセミナーの九州全県受信やレディースフォーラムの回数増などの参加機会の拡大により、延べ1,600名の方に行事にご参加いただきました。

復興支援活動として親子イベントを開催したり、沖縄支部との交流として被災地視察を行いました。「わが町の魅力再発見」をテーマにした地区別交流会も大変好評でした。2018年度も、九州支部のモットーである「オリジナリティ」と「トライアル」を意識した、年間約50の行事を開催するほか、九州各地の被災地の復興支援活動を継続して行います。会員の皆様の積極的なご参加をお待ちいたします。また、2019年度秋季大会の当番支部として、さらなる活性化を図るとともに、400会員を目指します。

佐賀地区交流会
「幕末佐賀藩の偉人たち」

2017年度九州支部総会（3月2日・大分）

四国支部

石元 啓介 支部長
(株)穴吹カレッジサービス

会員満足度向上、魅力ある活動を目指して！

2018年度の本部活動方針である“真の会員サービス”を支部でも目指し、最新のICT情報の提供や人財育成が会員企業へ役立つもの、支援できるものと考え、過去の内容を見直し、他支部の行事を参考にしながら企画をしています。技術的なものだけではなく、合宿研修・アウトドアイベント・懇親会など数々の趣向を凝らしたユニークなイベントも開催するようにしており、異業種交流の場として役立つだけでなく、



2017年度四国支部総会

人財育成・人財交流などを通して、ファミリー会に入会して良かったと満足していただける魅力ある活動を行い、会員増を目指してまいります。

沖縄支部

平石 哲雄 支部長
沖縄行政システム(株)

沖縄らしさで活気ある支部づくりを目指します！

沖縄支部は、これまで幹事として支部活動にご尽力いただきました小波津様、石川様、兼次様から引き継ぎ、新年度から平石新支部長のもと、新幹事3名を迎え、新体制でスタートいたします。

支部の昨年度期初の会員数は90会員。100会員突破を目指した会員増強活動を行い、12月には99会員まで仲間が増えました。4月には1会員様が加入され、念願の100会員で新年度をスタートさせることができました。

支部ではこれまででもサンゴの植付体験や城(グスク)巡りなど沖縄色のあるイベントを行ってまいりましたが、今年度はさらに沖縄らしさを感じられるイベントを提供してまいります。新しい沖縄支部にご期待ください。



サンゴの植え付けツアー

FUJITSUファミリー会 2018年度春季大会の お知らせ



◆開催日 **2018.5.18 (金)**

◆開催場所：帝国ホテル
(東京都千代田区)
「富士の間」(本館3階)

◆募集定員：600名

プログラム

- 14:50～ 受付開始
- 15:20～16:00 式典
[挨拶／2017年度論文表彰]
- 16:00～17:30 記念講演
- 17:45～19:00 懇親会

お申し込み
<http://jp.fujitsu.com/family/>
5月14日(月)まで

記念講演

「AIが拓く未来 ～2030年の人間と社会を考える～」

国立情報学研究所 社会共有知研究センター
センター長・教授
一般社団法人 教育のための科学研究所
代表理事・所長

あらいのりこ
新井紀子氏



profile

東京都出身。一橋大学法学部およびイリノイ大学数学科卒業、イリノイ大学5年一貫制大学院数学研究科単位取得退学(ABD)。東京工業大学より博士(理学)を取得。専門は数理論理学。数学以外の主な仕事として、教育機関向けのコンテンツマネジメントシステムNetCommonsや、研究者情報システムresearchmapの研究開発がある。2011年より人工知能プロジェクト「ロボットは東大に入れるか」プロジェクトディレクターを務める。2016年より読解力を診断する「リーディングスキルテスト」の研究開発を主導。

著書に「ハッピーになれる算数」「生き抜くための数学入門」(イースト・プレス)、「数学は言葉」(東京図書)、「コンピュータが仕事を奪う」(日本経済新聞出版社)、「ほんとうにいい? デジタル教科書」(岩波書店)、「AI vs. 教科書が読めない子どもたち」(東洋経済新報社)など。

FUJITSUファミリー会共催 富士通フォーラム 2018

「富士通フォーラム 2018」では、ファミリー会入賞論文の発表のほか、各界の有識者や経営トップおよび富士通の役員による講演や各種セミナー、富士通の最新ICTソリューションの展示等を予定しています。ぜひ、ファミリー会・春季大会の前に、ご来場ください。

◆開催日：2018年5月17日(木)・18日(金)
8:00～19:00

◆開催場所：東京国際フォーラム (東京都千代田区)

お申し込み

以下のURLより

<http://forum.fujitsu.com/tokyo/e/>

[5月16日(水)12:00まで]

富士通フォーラム事務局

E-mail: contact-forum-tokyo@cs.jp.fujitsu.com

Tel: 03-5520-5774 (受付時間9:00～17:30 土・日・祝日を除く)

Close-Up

働き方改革の
カギとなる
「RPA」

政府が本腰で力を入れている労働力不足の改善。そのための働き方改革のひとつとして、一人ひとりの労働生産性の向上を実現するうえで注目されているのが、「RPA (Robotic Process Automation; ロボティック・プロセス・オートメーション)」である。ホワイトカラーの働き方を大きく変化させると注目されているRPAは、AIやボットと比べて、どのような特徴をもっているのだろうか。また、その適用分野および効果はどのようなものだろうか。国内の先進事例とともに考察する。



RPA が注目される背景と市場動向

「RPA」とは、ロボットが人間に代わって自動的に業務を処理することである。ただしRPAというロボットは、人型ロボット(ヒューマノイド)や産業用ロボットではなく「ソフトウェア」である。これまで人間がコンピュータ上で行ってきたデータ入力作業や出力作業などのルーチンワークを自動化する。

生産ラインの組み立て作業をロボット化することで工場の生産性を飛躍的に向上させたように、RPAはオフィス業務の生産性を向上させるものとして期待されている。ある分析では、日本企業のホワイトカラー業務の約60%はルール化が可能であり、そのうちの約80%はロボットで代替可能、つまりホワイトカラー業務の約半分はロボットに置き換えられると考えられている^{※1}。

RPAは、数年前から金融・保険業など一部の業種かつ大手企業での採用が進んでいたが、2016年頃からはメーカーや中小企業などでも注目が高まってきた。その背景として次の3つが考えられる。

まず1つ目が、生産年齢人口の減少、および働き方改革の社会的要請の高まりである。長時間労働を前提とした働き方を見直し、労働時間を削減するためにRPAを活用しようというものである。内閣府が長時間労働の是正も視野に入れた「働き方改革実現推進室」を設置したのは2016年9月だった。

2つ目は、ホワイトカラーの生産性向上ニーズの高まりである。公益財団法人日本生産性本部の「労働生産性の国際比較2017年版」によると、2016年の日本の時間当たりの労働生産性はOECD加盟35カ国中20位。主要先進7カ国では、データが取得可能な1970年以降、最下位の状況が続いている。

3つ目は、RPA市場の拡大である。参入ベンダーが増え、簡易に利用できるRPA製品が増えてきた。また、先行事例によるRPAの有効性が実証され、かつ業務部門主導で進められることが知られるようになった。

しかしながら、ガートナー ジャパン株式会社(以下ガートナー)が2017年10月に発表した国内RPA市場動向によると、「(RPAを)既に導入済み」と回答した企業の割合は全体の14.1%で、「導入中」「導入予定」「検討中」の割合は25.4%。これに関してガートナーは、「多くのRPA製品は成熟したテクノロジーの組み合わせであり、人工知能(AI)や機械学習テクノロジーを実装している製品は極めて少なく、本格的な実装と利用はこれから」と見ている。

株式会社アイ・ティ・アールが2017年10月に発表した国内

※1 日経ONLINE 『ロボット導入が、人の価値を高める』
<http://business.nikkeibp.co.jp/atcl/report/16/012300104/021400006/>
※2 <https://www.gartner.co.jp/press/html/pr20171012-01.html>

カテゴリー	業務例	
共通	単純業務支援	・入力内容の値チェック ・複数人へのメールの送信
	レポート作成	・各種業務のレポート、報告書の作成
	データのマージ	・複数システムからデータをダウンロードし、1つのファイルへ整理
	申請への承認	・申請の検知、承認者への定型文の自動送信
経理	入出金業務	・請求情報、支払情報などのチェック
	会計監査	・会計資料の数値のチェック
人事	労務管理	・残業時間の多い従業員のリスト化、管理職・対象社員へのメール送付

■表1 RPAが適している業務

出典：野村総合研究所 市原雄太『PRAが実現する新しい業務改革』（ITソリューションフロンティア Vol.34 No.7）

のRPA市場規模^{※3}によると、2016年度の売上金額は8億円で、前年度比4倍増と急速な伸びを示し、2017年度も同2.5倍増。今後も継続的な伸びが見込まれることから、2016～2021年度のCAGR（Compound Average Growth Rate：年平均成長率）は59.3%を予測している。

RPAの特徴

現在私たちは、PC上でのExcelやWordなどの操作、ERP上のデータベース操作、インターネット上の情報検索などの作業を別々に行っている。私たち人間が介在することで、初めて報告書などの1つの成果に仕上がる。従来、これを複数のアプリケーションを連携させて自動的に処理するには、各アプリケーションから提供されるAPI（Application Programming Interface）を理解し、APIを介してデータをやり取りするための専門的なプログラミング知識が必要である。

一方RPAは、各アプリケーションのユーザーインターフェース上の操作を認識し、その手順をワークフローとして登録することで人間の「手作業」を真似て、自動的に処理する。このように人間に代わって作業をしてくれる労働者という意味で、RPAは「デジタルレイバー（Digital Labor；仮想的労働者）」とも呼ばれる。

一般社団法人日本RPA協会は、RPAを「これまで人間のみが対応可能と想定されていた作業、もしくはより高度な作業を人間に代わって実施できるルールエンジンやAI、機

械学習などを含む認知技術を活用した業務を代行・代替する取り組み」と説明。RPAの活用によって業務の自動化範囲を拡大できるとしている。

ところで、自動化には「人が処理内容を逐一定義する」「大量のデータからシステムが学習して判断する」の2つがあるが、狭義のRPAは前者の「ルールベースの自動化」、AIは後者の「判断ベースの自動化」といえる。また、後者の判断ベースの自動化はさらに、人が判断ルールを実装する方法（iPhoneのSiriなど）と、システム自体が判断ルールを見つける方法（IBM Watsonなど）に分かれる。チャットボットなど人間に代わって一定のタスクや処理を自動化する「bot（ボット）」は、前者の自動化であり、人が判断ルールを実装することで実現されている技術である。

RPAの適用業務

ホワイトカラーの定型作業の自動化は、すでにExcelのマクロなどに取組まれてきた。しかしRPAがマクロと違う点は、1つのアプリケーションで完結するのではなく、複数のシステムやアプリケーションにまたがって入力内容の値チェックや、報告書の作成、データのダウンロードなどを行う業務を自動化できる点にある（表1）。RPAはもともと、人が操作するマウスやキーボードの動きをシミュレートするソフトウェアロボットとして開発がスタートした。そのためパソコンを使って行う定型業務との親和性が高い。

またRPAには、以下のような業務が向いていると考えられる^{※4}。

- マニュアルが整備されている
- ルールが明確で、例外が少ない
- 繰り返が多い
- 発生頻度が高く、一定の事務量がある
- 連続したプロセスからなる業務
- 時間指定、時間制約のある業務
- 人間にとってストレスとなる業務

しかも、導入のしやすさも大きなポイントである。既存の業務アプリケーションへの改修が不要で、大規模なIT投資なしに、一般に1～2カ月ほどで導入できる。市販のRPAツールであれば、プログラミングの知識がなくても、業務フローのシナリオを容易に作成できる。

RPAは、カバーする機能の範囲によって一般的な傾向として、次の3つのクラスに分けられている。

※3 <https://www.itr.co.jp/company/press/1710050102PR.html>

※4 日本銀行 金融機構局 金融高度化センター 『ITを活用した金融の高度化に関するワークショップ（第3期）』資料より

クラス	クラス 1 RPA (Robotic Process Automation)	クラス 2 EPA (Enhanced Process Automation)	クラス 3 CA (Cognitive Automation)
処 理	定型業務の自動化	非定型業務の自動化	高度な自律化
作 業	単純作業	類推作業	意思決定
例	データ入力など	売上予測など	経営判断など

■表2 RPAの3つのクラス

- クラス1：データ入力や複数アプリケーションの連携による単純作業の定型業務
- クラス2：例外処理や非構造化データの収集や分析などの非定型業務
- クラス3：AIを使ってプロセスの分析・改善、意思決定などを自律的に行う、個別最適化された高度な業務

現段階では、RPAは狭義のクラス1で語られることが多く、市販のRPAツールの多くがクラス1である(表2)。

RPAの導入事例

RPAによる業務自動化の事例をいくつか見ていく。

大手飲料メーカー Aは、大手小売業グループのWebサイトからPOSデータをダウンロードする作業に、ブラウザ操作を自動化するRPAツールを採用。従来は各社のPOSデータにアクセスしてダウンロードするのに1社当たり1日約1時間かかり、また手作業でのカテゴリ抽出にミスが発生していたが、導入後は平均30分に短縮。しかも週次取得をしていた一部のデータを日次取得にでき、よりきめ細やかな分析が可能になった。

大手メーカーの販売子会社Bは、顧客が指定する伝票様式に対応するなど、システム上で処理できない手作業が全体の約15%を占めていた。また、スキルの高いベテラン社員の減少も始まっていた。そこでRPAをパイロット導入したところ、複数システムの転記作業で9割以上、売掛金・入金消し込みで4割以上などの時間削減効果が出たことから本格導入を決定。業務の棚卸しを行い、3年間で合計325業務をRPA化予定である。

大手メーカーのCは、勤怠チェックの手作業をRPAに

よって自動化。残業申請と管理システムに登録された退社時間や、業務日誌と管理システムへのログインなど、勤怠情報を網羅的に自動取得することを可能にし、担当者は間違いが見つかった後の本人への連絡対応だけで済むようになった。これにより、年間で60時間ほどの業務を削減するとともに、コンプライアンス遵守にも貢献できた。このRPAの開発期間は7人日だった。

地銀Dは、件数および頻度の多い「格付け自己査定」、特定の人や時期に集中する「投資信託集計報告業務」をRPA化。前者は年間で1,283時間の削減、および入力ミス削減による検証負担の軽減を、後者は“ながら”作業1～2日を15分に削減するとともに業務の平準化と見える化を実現した。

いずれのRPA化も、従来のシステム開発でカバーできていなかったニーズに対するものである。

人とデジタルレイバーの共存に向けて

経済産業省は2016年4月、AIやロボットなどの技術革新によって、何も対応しなければ2030年度には735万人(2015年の労働力人口の1割強)の雇用が減るとの試算を発表。逆に、日本が世界で第4次産業革命^{*5}を主導できれば雇用の減少は161万人に抑えられるとしている(表3)。

例えば高度な営業販売職は、変革シナリオでは114万人増えるが、現状放置シナリオでは62万人減る。そして定型の営業販売職は、どちらのシナリオでも60万人以上の減少が避けられない。同省は「変革の決意をもって取り組まなければ、じり貧になる」(鈴木淳司経済産業副大臣)と、産業界に変革を訴えた^{*6}。

また2017年9月、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グ

^{*5} コンピュータによる自動化が進んだ第3次産業革命に対し、第4次産業革命ではIoT、ビッグデータ、ロボット、AIなどによる技術革新によって、自律的な最適化が進むと考えられている
^{*6} https://www.nikkei.com/article/DGXLASDF27H1D_X20C16A4E8000/

2015年度と2030年度の比較

職 業	職業別従業者数	
	現状放置	変 革
①上流工程（経営戦略策定担当、研究開発者等）	-136万人	+96万人
②製造・調達（製造ラインの工具、企業の調達管理部門等）	-262万人	-297万人
③営業販売（低代替確率）（カスタマイズされた高額な保険商品の営業担当等）	-62万人	+114万人
④営業販売（高代替確率）（低額・定型の保険商品の販売員、スーパーのレジ係等）	-62万人	-68万人
⑤サービス（低代替確率）（高級レストランの接客係、きめ細やかな介護等）	-6万人	+179万人
⑥サービス（高代替確率）（大衆飲食店の店員、コールセンター等）	+23万人	-51万人
⑦IT業務（製造業におけるIoTビジネスの開発者、ITセキュリティ担当者等）	-3万人	+45万人
⑧バックオフィス（経理、給与管理等の人事部門、データ入力係等）	-145万人	-143万人
⑨その他（建設作業員等）	-82万人	-37万人
	-735万人	-161万人

■表3 変革シナリオにおける職業別の従業者数の変化

出典：経済産業省「『新産業構造ビジョン』～第4次産業革命をリードする日本の戦略～」

ループが、RPA化などによって9,500人相当(国内従業員の約3割)のオフィスワークの削減を目指し、オフィスワーク全体の生産性を高めると報道され話題となった。従業員は、人にしかできない仕事や新しい仕事を担当し、スキル向上にも取り組むとした。

RPAはデジタルレイバーとして、人と共に働く仲間として企業に存在するようになっていくと見られている。自社の様々な業務の中で、「人間の代わり」ではなくRPAが得意とするものを的確に捉え、人間との共存を進めていくことが重要である。当然のことながら、それによってメリットを得られるホワイトカラーがいる一方で、雇用不安を感じるホワイトカラーもあるだろう。企業側は、人間がRPAよりも得意とする仕事へシフトできるよう道筋をつくっていくことも求められる。

また、RPAの導入にあたっては、業務をよく知る人を導入に関与させ、また導入後も環境の変化に合わせてRPAのメンテナンスをするという新しい仕事の人材として育成していくことも考えられる。RPAのパイロット運用やスモールスタートで大きな効果を出した企業は、適用業務の拡大とともに、拡大のための人材育成や運用ルールの構築にも取り組んでおり、人材育成の果たす役割はますます重要になってくるだろう。

富士通の取り組み

富士通コミュニケーションサービス(CSL)では、様々なお客様にコンタクトセンター、セールスマーケティング、ヘルプデスク業務、バックオフィス業務といったアウトソーシングサービスを提供している。

同社はバックオフィス業務のうちの検収や解約の業務にRPAを活用したところ、作業にミスが生じた場合もRPAで発見できるようになり、現場の従業員から「日々の

プレッシャーから解放された」という声が上がった。

また繁盛期には通常の5倍、6倍の作業が生じていたが、RPAによって増員をしなくて済み、従業員は「休みを取得しやすくなった」と高評価。またRPAの導入に際してBPR(ビジネス・プロセス・リエンジニアリング)も行ったことから、「社員教育がしやすくなった」という声も聞かれた。働きやすさを調査するESアンケートでは全体では3.70点(5点満点)であるのに対し、RPA利用部署は4.38点と非常に高いスコアを達成したという。

富士通はこれからもお客様との共創(Co-creation)のために、AIやロボットによるグループ内の「働き方改革」を推進していく。

●富士通関連サイト

AI、RPA導入で進む、新しい「働き方改革」とは？

<http://journal.jp.fujitsu.com/2017/12/27/01/>

<参考資料>

○「RPAの威力～ロボットと共に生きる働き方改革～」

安部 慶喜・金弘 潤一郎（日経BP社）

○一般社団法人日本RPA協会 <http://rpa-japan.com/>

○ITmediaエンタープライズ：コレ1枚で分かる「RPA」

<http://www.itmedia.co.jp/enterprise/articles/1704/04/news014.html>

○ITmediaエンタープライズ：今さら聞けない、RPAとAI、botの違い

<http://www.itmedia.co.jp/enterprise/articles/1707/12/news028.html>

○RPA BANK：【決定版】RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）とは？

<https://rpa-bank.com/report/7318/>

○The Finance：RPAとは？業界屈指の導入実績から見えた導入の落とし穴と成功

の秘訣 <https://thefinance.jp/fintech/170601>

〈監修〉編集委員 照井 康之 三菱 UFJ トラストシステム株式会社

地域を盛り上げる信金として 期待に応えたい

おしま
渡島信用金庫 理事長 伊藤 新吉 氏



S h i n k i c h i i t o

いとう しんきち / 1950年生。北海道森高等学校卒。1969年渡島信用金庫 入庫。支店長、本店営業部長、常勤理事 1年、1996年理事長に就任。いち早く女性管理職を登用したり、若手の支店長を次々と誕生させたりと経営改革を断行。金融業以外でも、貝殻を活用した新商品開発のサポートや海外での北海道物産展を取りしきるなど、独創的なアイデアと実行力で地域の活性化を推進する。森商工会議所の会頭を務めるなど地元の信頼も厚く、物流、情報、人財など、あらゆる面で地域のための挑戦を続けている。

金融業が激変する中 どん底からの出発

バブルが崩壊して日本経済は低迷し、金融業は激動の時代を迎えますが、私が理事長に就任したのはそのまったただ中の1996年です。1995年、住専(住宅金融専門会社)の債権処理をめぐる国会が紛糾し、1997年には北海道拓殖銀行が破綻し、北海道の経済は大きなダメージを受けます。

そのような中、当金庫においても、多額の不良債権を抱える事態となっていました。バブル期の審査の甘い融資のしわ寄せが一気に押し寄せたというありさまで、まさに経営危機と言っても過言ではありませんでした。

私はこのまま理事長を続けるべきか否か、悩み抜きました。それまでの経営の責任を私が負わなければならないのか。しかし、何もしなければ、渡島信用金庫の

歴史にピリオドが打たれてしまうかもしれない。何度も自問自答しましたが、最後には、とことんやってみよう、それで駄目だったら仕方がない、と前を向きました。

それから2年間は、自ら営業の先頭に立ち、積極的に融資を展開して基盤整備をはかりました。役職員が一丸となって奮闘し、さらに金融ビッグバンもあって、幸いにも不良債権は3年で償却することができたのです。この経験は、その後の私の経営の舵取りに大きな影響を与えました。崖っ縁に立って覚悟を決めることができるのかどうか。常にそのような真剣勝負で仕事に向き合いたいと思っています。

時代を先駆ける気概と オリジナルな商品開発

理事長に就任し、真っ先に行ったのは「経営理念」を作ることです。長い歴史の

当金庫に、厳しい時代を乗り切る新たな指針が必要だと考えたからです。「地元とともに使命の発揮」「信用・信頼による健全経営」「役職員の融和と人材育成」という3つの経営理念を掲げ、各人が信用金庫の使命の原点をしっかりと認識するよう心がけています。

効率化を進めるために、ICT化にもいち早く取り組みました。富士通さんの力を借り、渉外支援システムを構築し、充実した顧客(個客)管理と業務の省力化を実現。さらなるICT化と機械化による抜本的な業務改革の結果、役職員190名体制が現在は95名となるなど、効果的な業務運営が可能となりました。

渡島信用金庫の独自性を意識し、差別化をはかりたいと考え始めたのもこの頃です。その一つとして、金融機関の貸し渋りや貸しはがしが顕著になった2000年に、他金融機関からの借入を一本化し、キャッシュフローを重視した最長25年返済が可能な事業活性化支援資金『楽ちん』のサービスを開始しました。当時は同業者などから奇異な目で見られることもありましたが、今では当金庫の事業者向けサービスの中で、事業性評価を主体とした融資が一番喜ばれています。

また、ベンチャー企業を対象に、無担保無保証で200万円まで最長20年返済で融資する『KITALI』というサービスも好評を持って利用されています。今、地域が何を求められているのかをアンテナを高くてキャッチし、それに対してどういうサービスで応えていくべきかを常に追求し、当金庫ならではの実績を積み上げていきたいと思っています。

このような姿勢が功を奏し、ここ数年、渡島信用金庫の預貸率は北海道内の信用金庫で断トツ1位であり、4年前は70.4%の預貸率で全国の信用金庫でトップにもなりました。預貸率については様々な分析や見解がありますが、ともかく当金庫は、地域に対し少なからぬ貢献をしているという自負を持っています。今後は、地域の中小零細企業の皆様方にAIの導入や活用を積極的に働きかけ、人

手不足の解消をはかり、事業安定化の継続に貢献し、地域の方々さらに喜んでもらえるようなサービスも展開して予定です。

原点から離脱せず 進むべき道を見据える

渡島信用金庫にとって一番大切なものは、紛れもなく地域と人。すなわち、点ではなく面への取り組みです。ここから離れては未来はないと思っています。経営という観点からすれば、規模を大きくするという選択肢もあるでしょう。実際に一兆円規模の預金を持つ信金もあります。ただ、ローカルな信用金庫として生き残るのはその道だけではありません。

都市部の大手の信金と、地方の信金とでは戦略が全く違います。私は「ゲリラの戦い方」と称していますが、私たちは的確な情報をスピーディーに入手できる基盤があるので、素早い意思決定も可能であり、これが強みになっています。この強みを生かすために、常に地域に密着し、「現場」「現物」「現実」をしっかりと見る「三現主義」を徹底しています。

若い人たちには、何をどうやりたいのか、自分の考えで積極的に提案してほしいと思っています。若年でも、支店長をやりたいという意向があるなら、前向きに検討します。もちろん、責任を取る覚悟があることが前提です。また、現在、管理職の45%は女性で占められており、性別に関わらず、能力のある人間が責任あるポストに就いています。

そして、役職員に正しい判断を下すためにも、私は全支店の書類をチェックして、赤ペンまで入れています。だからといって、ことさら結果にこだわっているわけではないのです。どちらかと言えば、経過主義です。結果はもちろん大切ですが、日々、何をどうやっているかが重要だと考えています。仕事には短期で結果が出るものもあれば、長い目で検討したほうが良いものもあります。毎日、シビアに現実と向き合い、情報を取り入れ、当金庫の利益になるよう不断に努力するこ



本店職員の皆様とともに

とが肝心なのです。

地域活性化のために 画期的な挑戦を続ける

理事長を20年以上続け、様々な生き方、企業体のあり方を見てきました。その上で今一番に考えるのは、地域と当金庫、いかにWin-Winの関係を築くかということです。当金庫が金融機能だけにとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、活動しているのも地域全体が幸せになる道を開きたいという思いからです。

そうした活動の代表的なものは、道南地域の企業を巻き込んで作った「南北北海道地産物流協同組合（通称：みなほっの杜）」です。道南の農産・水産物を中心とした特産品を厳選し、協同組合という組織の中で連携・協力し、販売を行っています。各地で開催される物産展での販売はもちろん、オンライン・ショップも立ち上げています。当金庫の札幌支店のロビーではアンテナショップを開店し、月2回程度、マグロの解体ショーや旬の食材・加工品の販売など特別催事を行っています。

他にも、マスコミにも取り上げられた糖度25度以上の黄金のカボチャ「くりりん」の栽培を支援したり、帆立貝の貝殻を利用した歯磨きの商品化に力添えしたりと地元の活力を少しでも後押ししたいと思っています。

そして、今、私の中の大きな目標とし

〈座右の銘〉

一円融合

(いちえんゆうごう)

二宮尊徳が提唱したものの、各々の事象や地域などを切り離して考えるのではなく、お互いが働きかけ合う一つの円と解釈し、それらが一体となることによって初めて成果が現れるとする思想。

て、各方面へ働きかけを行っているのが「外国人学校」です。不足する労働力を補う外国人労働者は現代の日本において欠かせない存在になっていますが、この学校は外国人研修制度をもっと進化させ、10年間の就労制度を確立させようというものです。仕事のノウハウだけではなく、日本の文化や歴史なども学べる「学校」です。これが出来れば、外国人が夢を持って働けるようになりますし、長いスパンの中で就労のチャンスも広がります。地場産業の労働力が増えれば、当金庫のお客様も増える。まさに、Win-Win-Winの関係です。

もちろん、制度を変えるわけですから、ハードルは高いですが、全力を尽くして挑戦しなければなりません。現在、行政機関への様々な申請手続きにも着手しています。当金庫が110周年を迎える2020年までには、必ず、この夢を実現させたいと思っています。

company profile

渡島信用金庫

●所在地:

〒049-2326 北海道茅部郡森町
字御幸町 115 番地

TEL.01374-2-2024 (代)

<http://www.oshima-shinkin.jp/>

●設立:1911(明治44)年

●出資金:90,800万円

●会員数:14,394名

●預金量:1,634億円

●貸出金量:1,026億円

●常勤役員数:94名

●店舗数:12店舗

(2017年9月末現在)

講演録

目線を変えれば 見えてくる！

～テレビ番組制作の舞台裏～

● 日常の“スキマ”にネタがある

NHKに入局して今年で30年目を迎えました。NHKには政治経済から教育や福祉、エンターテインメントまで様々な専門性の高い番組を作ろうという人々が集まっています。その中で私はひたすら、自分ならではの仕事とは何かを考え続けてきました。

入局2年目に東京から青森放送局へ転勤となり、そこで4年間を過ごしました。制作局では月に1回提案会議

があり、新入社員でも番組の企画案を必ず提出しなければなりません。そこで私が最初に手掛けたのが、朝のニュース番組で流れる数分間の情報コーナーでした。内容は、青森市内の用水路や川は、温泉を引く銭湯が流し続ける排湯で温められ、北国にも関わらず熱帯

の魚が繁殖しているという話でした。当時、青森のニュースと言えば、核関連施設や基地問題、農業や漁業問題といったテーマがほとんどでした。その中に突然出てきた熱帯魚の話は、「一見どうでもいいような内容なのになぜか見てしまった」と、予想外の好評をいただきました。これが、王道ではない、いわゆる“スキマ”に面白いネタがあるという手ごたえを感じた最初の経験になりました。その後も人が見落としそうなことを探し歩き、「地元では当たり前と思っていたことがこんな面白い番組になるのか」など好評価をいただくうちに、自分の方向性に徐々に確信を持つようになりました。

● 市民権を得た“オタク”文化

青森から東京に戻り5年間の勤務を経て、広島放送局へ転勤。そして4年後に再び東京に戻ってきた頃、NHKでは衛星放送に力を入れ、総合テレビにはない、ちょっと“クセ”のある面白い企画をやろうという気運が高まっていました。そこで生まれたのが、様々な趣味を持つ人々を取り上げた「熱中時間～忙中“趣味”あり～」という番組です。趣味と言ってもここでは、全国の郵便局巡りに没頭したり、通勤通学で利用したお気に入りのバスを買い取りマイカーにして楽しんだり、ちょっと変わったものばかりです。今振り返るとこの世界観こそが、後の「ブラタモリ」につながっていったのではないかと思います。

「熱中時間」が放送されると、海外の放送局から、「公共放送でなぜこのようなマニアックな番組が許されるのか」と一様に驚かれました。NHKが、極めて個人的なおかしな趣味を真面目に紹介している。それがごく普通の番組として受け入れられている。私は、これこそが日本の特徴だと思うのです。いわゆる“オタク”と言われる文化が時を経て成熟し、人とは違う趣味を持っていてもよいという柔軟な空気が育ってきた何よりの証拠だと思います。この番組が始まった2000年代から、インターネットで自分のことを発信する人が増えてきました。それが“オタク”の人々のネットワークを広げ、今までマニアックと思われてきたものが次々と市民権を得るようになったのです。

● 「ブラタモリ」のユニークな手法

人は、何かを一生懸命やっている人、楽しんでいる人、めり込んでいる人を見ると、心をくすぐられるものです。



2017年度
関東支部総会
特別講演

NHK 編成局コンテンツ開発センター
チーフ・プロデューサー

尾関 憲一氏

profile

おぜき けんいち 1988年早稲田大学教育学部国語国文学科卒業。同年NHK入局。制作局、NHKエンタープライズなどを経て現職。「東京カワイイ★TV」、「天才てびくん」、「熱中時間～忙中“趣味”あり～」など時代を反映した革新的な多くの番組を担当。特に地理・地学とエンターテインメントを融合した新たな教養番組「ブラタモリ」をプロデューサーとして担当し、国民の人気番組にした功績は大きい。著書に『時代をつかむ！ブラブラ仕事術』がある。

視聴者にとって面白さを感じるの
は、ゴールではなく、そこに向かう
人々の興味や情熱といったプロセス
ではないかと思います。

人気番組となった「ブラタモリ」誕
生のきっかけは、「タモリさんと昭和
43(1968)年に起きた三億円事件の
跡を歩いたら、何が見えるだろう」と
いうひとりの若いディレクターから
の提案でした。会議を重ねるうちに、
もっとニュートラルに、幅広い世代
が共感できるようなテーマで東京の
街を歩こう。さらに、古地図を手に都
内を散策されるタモリさんの趣味も
活かそうという「ブラタモリ」の形に
近づいていきました。そして、新旧の
変化が著しい明治神宮・原宿付近の
散策を「ブラタモリ」第1弾の特番と
して放送しました。深夜の放送にも
関わらず、たくさんの反響をいただき
ました。社内にはマニアックすぎ
るとの意見もありましたが、私は
「ちょっと変なものがウケる」という
これまでの経験を信じ、家族が揃う
平日の夜10時という時間帯に放送を
開始しました。

「ブラタモリ」の柱は、「観光地でも
何でもない街に、実は面白いストー
リーがある」というものです。番組で
は、道の途中でふと気になったもの
に対して、すぐに解説するのではなく、
まずは疑問を抱きながら道を往
復したり、街の人に聞いたり、地図を
確認したりというシーンが続きます。
実はこれは、誰もが経験してきた
本来の“知る”プロセスそのものなの
です。誰もが感じる疑問をあえて大
きく取り上げながら、そこにはこん
な話が潜んでいたという流れにもっ
ていく。回りくどいとも思えるこの
プロセスが、作り手が面白いと思っ
たネタを視聴者と共有するための仕
掛けなのです。

● “想定外”が世界を広げる

「ブラタモリ」には、「タモリさん

の知識の深さに驚いた」という意見
がある一方、「同行する女性アナウ
ンサーがものを知らなさすぎる」と
いう批判も多数寄せられました。
我々スタッフは入念な取材をしてき
ちんとした台本を作っていますが、
アドリブ感あふれる現場の空気を作
るため、出演者には台本は見せませ
ん。アナウンサーには視聴者目線で
素のままのリアクションをお願いし
てリアル感を出そうとしていたの
で、この反応は予想外でした。番組
の流れを把握しリードすることが
NHKアナウンサーの役割だという
考えが、いかに世の中に定着してい
るかに驚きました。し
かし、回を重ねることで私たちの意図は理
解され、番組の空気
を楽しんでくださる方
が増えていったのも
事実です。

また、「この番組は
観光の要素を実にう
まく取り入れている」
という意見も予想外
のものでした。各自
治体の観光課や町お
こし事業に携わって
いる方々が、地域の魅力
を再発見する参考にと見てくださっ
ている。「観光」という言葉は、私
たちが番組を作る際に全く考えてい
ないものでした。

さらに、「土木の世界を面白い番組
にしてくれた」という土木関係の
方々からの反響も、全くの想定外で
した。本来土木という言葉は、都市
インフラなど街全体の設計をする大
きな仕事を意味するもので、我々素
人が抱きがちな土や泥のイメージと
はだいぶ違うのです。仮に、観光や
土木専門の番組を制作したとしても、
このような反響をいただけたとは限
りません。この経験は、思わぬところ
から世界は広がるという大きな発見
になりました。

● 面白さを伝える目線とは

面白いものを伝えるには、「面白さ
の理由」を考え、言葉で表現できると
ころまで追究することが必要です。そ
れは簡単なことではありませんが、私
は常に、「これはなぜ面白いのだろう、
なぜ興味を引くのだろう」と考えるク
セをつけるようにしています。

例えば、先日の平昌オリンピック
ではカーリングが大変話題になりま
したが、なぜ多くの人々がカーリン
グに引き付けられたのか。それは、
カーリングは選手の顔がテレビに



映っている時間が、ほかの競技に比
べて圧倒的に長いからではないか。
スポーツは動きが速く、普通は選手
の顔の表情などじっくり見ることは
できません。しかし、カーリングは選
手の顔が静止画のようにテレビに
映っているため、人々に強い印象を
与えるのではないか。これは決して
答えではありませんが、このように
面白さの理由を言葉にしてみること
で、これまでとは違った見方をす
ることができます。仕事の場ではもち
ろん、普段の生活の中でも、意識して
目線を変えてみると新しい発見や気
づきにつながり、毎日が豊かになる
のではないかと考えております。



大人の趣味の作り方

はじめての山歩き ②

山歩きの魅力を伝える第2回。

前回380号では「山歩きの楽しさを知る」ことについてご紹介しています。



柏 澄子氏

登山全般をテーマにしたフリーライター。公益社団法人日本山岳ガイド協会認定登山ガイド(ステージⅡ)。高校、大学で山岳部に所属し、以来オールラウンドに山を楽しみ続ける。女性の視点からの登山啓蒙に努め、講習会やツアーなどでも積極的に活動する。著書に「山登りの始め方」「山の救急医療ハンドブック」「山歩きはなぜ体にいいの?」(以上、山と溪谷社)、「山歩き基本ハンドブック」「はじめよう!山歩きレッスンブック」(以上、JTBパブリッシング)など。

プロフィール <http://kashiumi.cocolog-nifty.com/>

山歩きの準備を始めよう

● 揃えたい基本の装備

山歩きは手軽に始められる趣味ですが、自然の中で行うものなので、安全性を高めるためにも、基本的な道具はできるだけ揃えることをおすすめします。初心者にも必要な道具としては、登山靴、ザック、雨具の3つ。ネットなどで手軽に購入することもできますが、自分の体に合ったものを選ぶために、専門のお店に足を運んで、お店の人と相談しながら選ぶようにするとよいでしょう。

【登山靴】 足首がしっかりと守られ保護されていて、靴底に凹凸があり滑りにくくなっています。デザインや色で好みのものを選びがちですが、重要なのはサイズです。足のサイズを測定し直してもらい、歩き心地を確認し、違和感のないものを選びます。靴下も厚みがあり吸汗性に優れている登山用のもの(化繊かウール)を合わせて選びましょう。登山靴にも様々なタイプがあります。日帰りハイキングなど、店頭スタッフに行き先を告げ、用途に応じたものを選んでください。

【ザック】 疲れにくいように、背負いやすい設計になっています。サイズだけでなく、ショルダーベルトの形状や素材によっても背負い心地は異なるため実際に背負って、体にフィット感があるものを選びましょう。容量(大きさ)は、日帰りであれば20~30リットル、1泊2日の山小屋泊まりは30~40リットルを目安に選んでください。

【雨具】 山では、傘はさすと風にあおられたり、木に引っかかったり、転倒したときに手が使えず危ないので使用しません。半日程度の山歩きでも、レインウェアを必ず用意しましょう。登山用のものは完全防水で透湿性にも優れていて、ジャケットとパンツのセパレート式が一般的です。雨や汗で体が濡れると急速に体温を奪うのでとても危険です。

最初からすべての道具を揃えるのが難しい場合には、山道具を専門に扱うレンタルショップを利用するという方法もあります。ネットで申し込みもできますが、やはり購入時と同様に店に足を運んで試着して選ぶことをおすすめします。

● 初めての山選び

初心者の山選びには次のようなポイントを抑えておくと安心です。

【歩行時間は2~3時間】 余力を持って下山できるように、歩行時間は2~3時間を目安にします。ランチや休憩を加えて、4~5時間におさめるのが適当です。

【道標や登山道が整備されている】 道に迷ったり、不安を感じな

いようハイカーが多くいる人気の山がおすすめです。

【エスケープルートがある】 天候や体調の急変時にも予定が変更できるように、早く下山できるエスケープルートがあると安心です。

【標高差は500メートルを目安に】 距離は短くても、急坂や細かいアップダウンがある登山道は、疲労度も高くなります。標高差は500メートルを目安にしましょう。中腹までロープウェイやリフトを使い、頂上を目指してもよいでしょう。

● 計画の立て方

登る山を決めたら、具体的な計画を立てます。登山用の地図を用意して登山道の状況を確認します。ガイドブックや登山地図に書かれている歩行時間はあくまで目安です。最初は短めの計画にし、自分がどの程度のスピードであるか把握するようにしましょう。山は陽が落ちるのが早いので、日没時間の2時間前には下山できるように計画します。

山岳エリアは交通の便が悪い場所も多いので、登山口までのバス便などの時間も確認しておきましょう。

● 山歩きの仲間を見つける

一人での山歩き派も多いですが、まだ慣れていない初期段階では、同行者と一緒に山歩きをする方がよいでしょう。意外と山歩きを趣味にしている人は多いので、周りの人に声掛けて聞いてみるのもいいかもしれません。

仲間が見つからない場合は、山道具の専門店や旅行会社が企画しているツアーに参加するという方法もあります。

また、山岳ガイドに同行してもらって選択肢もあります。山歩きのコツや、注意すべき点なども学ぶことができ、安全に山歩きを楽しむための知識や技術を学ぶこともできます。



ガイドツアーに参加し、気の合う山仲間を見つけることも。日本山岳ガイド協会認定ガイドは、一定の経験とトレーニングを積んだガイドです。

Family's Information

FUJITSUファミリー会をもっと楽しく活用していただくための様々な情報をご提供します。

FUJITSU ファミリー会事務局 E-mail : contact-familykai@cs.jp.fujitsu.com

FUJITSU Digital Business College ～第二期生募集開始 (2018年7月開校)～



「FUJITSU Digital Business College」とは

様々な分野の第一人者を各コースの監修者、講演者としてお迎えし、富士通×第一人者の共創による実践的な研修サービスを通してデジタル革新に向けた高度なICT人材の育成を支援します

めまぐるしく進化するデジタル時代に何を実現したいのか
そのためにはどのようなスキルやICT技術が必要なのか
最新テクノロジーをどう活用し、どのように新たな価値を創出するのか
迅速に判断し、イノベーションを起こせる人材が今、求められています

〈コース〉

- デジタル戦略コース【部門長向け】
- デザイン思考コース【実務者向け】
- AI・Analyticsコース【実務者向け】
- Securityコース【実務者向け】

FUJITSU Digital Business Collegeの詳細はこちらから

FUJITSU Digital Business College
www.fujitsu.com/jp/services/business/training-education-services/college/



LS 研究委員会

LS研総合発表会2018ご案内 ～2017年度の研究成果を集結～

- ・日時：2018年5月22日(火)
- ・場所：グランドニッコー東京 台場(東京・台場)

プログラム

- 9:45 ~ 9:55 LS研運営部会長 挨拶
- 9:55 ~ 12:25 研究分科会 研究成果発表
- 13:40 ~ 16:10 研究分科会 研究成果発表
- 16:30 ~ 17:40 特別講演
- 18:00 ~ 19:30 懇親パーティー(分科会表彰)

詳細・お申し込み

<http://jp.fujitsu.com/family/lskan/activity/annual/18/>

締切：5月16日(水)

特別講演

「人工知能は世の中をどう変えるか」

公立はこだて未来大学 副理事長 兼 教授
前人工知能学会会長 前情報処理学会理事
観光情報学会理事
株式会社未来シェア 代表取締役社長



松原 仁氏

プロフィール：

1959年2月6日東京都出身。1981年東京大学理学部情報科学科卒業。1986年同大学大学院工学系研究科情報工学専攻博士課程修了。工学博士。同年通産省工技院電子技術総合研究所(現産業技術総合研究所)入所。2000年公立はこだて未来大学教授。2016年公立はこだて未来大学副理事長。人工知能、ゲーム情報学、観光情報学などに興味を持つ。著書に「コンピュータ将棋の進歩」「鉄腕アトムは実現できるか」「先を読む頭脳」「観光情報学入門」など。

NEW FAMILY (1～2月度ご入会分)

- 北海道 (株)都築ソフトウェア
インフォテクノ(株)
- 東北 (株)テスプロ
テクノウイング(株)
- 関東 (株)玉川ホールディングス
河西工業(株)
ウェブロックホールディングス(株)
ゴディバジャパン(株)
インフォテクノ(株)
プレス工業(株)
(株)ショーワ
東京金融取引所
イーグル工業(株)
NTTコムウェア(株)
ウィルクハーン・ジャパン(株)
(株)GETSYSTEM
日本ハムビジネスエキスパート(株)
(株)アマダホールディングス
能美防災(株)
パイオニア(株)
(株)吉野工業所
(株)ヤオコー
セントラルソフト(株)
富士通エフサスシステムズ(株)

- 関東 (株)東光高岳
(株)明電舎
TES-ANM JAPAN(株)
日本電子(株)
住友化学システムサービス(株)
(株)マイナビ
東洋エンジニアリング(株)
ウシオ電機(株)
滝沢ハム(株)
東京ベイ信用金庫
(株)シジュージャパン
一正蒲鉾(株)
ユニオン情報企画(株)
朝日生命保険相互会社
長野中央病院
(株)コホマタイヤジャパン
(株)富士通ソフトウェアテクノロジーズ
PFUヒューマンデザイン(株)
- 信越 (株)歯愛メディカル
(株)アイ・シー・エス
(株)協豊製作所
川重岐阜サービス(株)
学校法人 愛知大学
ダイフボウ情報システム(株) 浜松支店
ゴムノイナキ(株)
富士通エフサス東海カスタムサービス(株)
- 北陸
- 東海
- 関西 (株)合同会社 F I S

- 関西 堺化学工業(株)
(株)ジェイ・エス・ビー
大建工業(株)
(株)アストロ
東京コンピュータサービス(株) 大阪支店
(株)セキスイビジネスアソシエイツ
東伸工業(株)
第一稀元素化学工業(株)
コーナン建設(株)
(株)ケーニヒスグローネ
(株)アイル
トーチックアメニティ(株)
パナソニック(株)
日本電通(株) 通信事業部
池田泉州信用保証(株)
大日本住友製薬(株)
(株)ギャバン
(株)メイプルソフト
住重アテックス(株)
大塚ホールディングス(株)
西南開発(株)
大英産業(株)
(株)麻生情報システム
アイテック(株)
熊本県経済農業協同組合連合会
日本コムシス(株)
- 中国
- 四国
- 九州

Family's Information

FUJITSU ファミリー会をもっと楽しく活用していただくための様々な情報をご提供します。

FUJITSU ファミリー会事務局 E-mail : contact-familykai@cs.jp.fujitsu.com

FUJITSU
ファミリー会
2017
年度



2018年5月18日(金)
春季大会で表彰式を
行います

入賞論文のお知らせ

2017年度は一般論文12編、新人賞16編の応募があり、論文委員会の厳正な審査の結果、入賞論文は秀作論文以下、次の通り決定いたしました。(最優秀論文・優秀論文の該当なし)



秀作論文 (賞金10万円)

ダイバーシティ推進で創る企業の未来 -女性活用から始まるイノベーション-

株式会社マルハン 高原 安未 氏

ソフトウェア開発における不良原因分析手法へのテキストマイニング技術の導入

みずほ情報総研株式会社 鈴木 匠 氏

働き方改革を定着させる。改革始動期に企業は何をすべきか

明治安田システム・テクノロジー株式会社 早川 晶子 氏

新人賞 (賞金3万円)

銀行システム開発におけるテスト自動化へのアプローチ ～アナログからデジタルへの業務改革の取り組み～

みずほ情報総研株式会社 北原 峻太郎 氏 堀 晴菜 氏

ペーパーレスオフィスの観点からの業務効率化提案

四国電力株式会社 和田 勝貴 氏

OJT期間に担当した電話対応オペレーターの気づきと学び

富士通エフ・アイ・ピー株式会社 皆澤 聖 氏

サーバ構築自動化における課題解決への取り組みについて

富士通エフ・アイ・ピー株式会社 岩里 洸介 氏

業務支援システム開発における入出力インターフェースへのエクセル利用による データ入力時間の削減

日揮株式会社 篠原 泰志 氏

富士通
フォーラム
2018



2018年5月17日(木)
東京国際フォーラム

FUJITSUファミリー会共催セミナー

『ファミリー会論文 2017年度入賞論文発表』

富士通フォーラムにて、ファミリー会論文の2017年度入賞論文2編を発表いたします。

S15-4 15:10～16:00

2017年度ファミリー会論文 秀作論文

ソフトウェア開発における
不良原因分析手法への
テキストマイニング技術の
導入

みずほ情報総研株式会社
決済・チャネル系
システム事業部第3部
鈴木 匠 氏



2017年度ファミリー会論文 秀作論文

ダイバーシティ推進で創る
企業の未来
-女性活用から始まる
イノベーション-

株式会社マルハン
経営企画部 ダイバーシティ推進課
高原 安未 氏



このセミナーの聴講には申し込みが必要です。富士通フォーラムでは、この他にも各種講演やセミナー、富士通のICTソリューションの展示を予定しています。詳細はホームページをご覧ください。

<http://forum.fujitsu.com/tokyo/e/>

お申し込みは5月16日(水)12:00まで



エントリー締切

論文募集

論文原稿提出締切

2018年 7月 31日(火)

2018年 9月 28日(金)

※エントリーが間に合わない方は、事務局までぜひご一報ください。

FUJITSU ファミリー会では「会員企業の課題解決に役立つ ICT を活用した事例」に関する論文を募集いたします。自身関わったプロジェクトの成果をまとめる機会、文章力のスキルアップをはじめとした人材育成の一環、自社の取り組みを広く社外にアピールする場、などにご活用いただきたく、情報システム部門の方のみならず、利用部門の方々もぜひご応募ください。

応募概要

応募資格

FUJITSU ファミリー会の会員の方
(非会員の方は FUJITSU ファミリー会へのご入会を条件といたします)

募集テーマ

「会員企業の課題解決に役立つ ICT を活用した事例」

- システム構築・改善事例
- システム導入・運用事例
- 最新ICT (AI, IoTなど) の活用実践事例
- ICTを活用した業務標準化の促進、人材育成、働き方改革、などの事例

応募方法

「エントリーシート」にご記入のうえファミリー会事務局まで E-mail でご提出願います。
詳しくは、ファミリー会論文ホームページでご案内します。

エントリー締切：2018年7月31日(火)

原稿量

本文 A4 版用紙 約 10 枚～20 枚 (8,000 字～16,000 字)
※本文の他に「論文要旨 (400 文字以内)」「目次」「図表一覧」を書き添えてください。
※原稿は Microsoft Word 形式です。フォーマットはファミリー会論文ホームページで公開いたします。
原稿提出締切：2018年9月28日(金)

賞および賞金

賞^(※1)および賞金

最優秀論文…賞金50万円

優秀論文…賞金25万円

秀作論文…賞金10万円

新人賞^(※2)…賞金3万円

※1 入賞論文についてはFUJITSUファミリー会春季大会(毎年5月に東京で開催)で表彰します
※2 新人賞審査において特に優秀であると論文委員が判断した論文には「特別賞」を贈呈します

謝礼(一般論文・新人賞 共通)

論文執筆謝礼…2万円

Web掲載謝礼…3万円

提出論文一編につきもれなく贈呈

論文委員会で審査のうえ、会員専用ホームページ「FAMILY ROOM」に掲載された場合、一編につき贈呈

若手社員の方を対象に「新人賞」も募集します！新人教育の一環としてぜひご活用ください！

OJT から学んだことや初めて携わったプロジェクトでの経験など、皆様が日々取り組んでいる業務を小論文にしてみませんか？「自分がどう関わったのか、何をしたのか」の視点から業務を見つめ直すことで様々なビジネススキルが向上します。

- 応募資格：2015年10月以降に入社した方
- 募集テーマ：日頃の業務から学んだあらゆること
- 形式：小論文(本文4,000字～6,000字)
- スケジュール：FUJITSU ファミリー会論文に同じ

2018年度の募集要項等の詳細は
ファミリー会論文ホームページをご確認ください。

<http://jp.fujitsu.com/family/article/>



From福島



地域の伝統を未来へつなぐ 相馬野馬追

7月末、甲冑姿の騎馬武者たちが戦国絵巻を繰り広げる、相馬野馬追。千年以上継承されると伝えられるこの伝統の祭りは、大震災と原発事故の惨禍にも中断することなく、今も華やかに勇壮に執り行われている。安寧と繁栄を祈る、人々の熱い思いをのせて――。

上左／2日目の「甲冑競馬」。旗印を背にした騎馬武者が、1kmを疾走
上右／「お行列」では、三神社の御神輿と各郷の騎馬武者たちが町を行く



各神社から出立する初日の「お繰り出し」。出陣式ののち祭場地へ向かう



「神旗争奪戦」。花火で打ち上げた神旗を地面に落ちる前に鞭でからめて取る

旧相馬中村藩全域にわたる 馬と人と神の祭典

民家や店舗が軒を連ねるアスファルトの道を、鎧兜に身を固め、色とりどりの旗印を背負った騎馬武者が列をなして進んでいく。その数、実に500騎近く。3kmの行軍で目指すのは祭場地である雲雀ヶ原(南相馬市原町区)。太鼓や螺(法螺貝)の音が響き、武者たちが述べる口上は、すべて武者言葉だ。相馬藩主を総大将とする行列ゆえ、見下ろしたり横切ったりしてはいけない。知らずに道を渡った観光客にも容赦なく、「何をしておる！横切るとはまかりならんっ！」と叱声が飛ぶ。

この「お行列」と呼ばれる行事は、3日間に渡る野馬追のうち、2日目の午前中に行われるもの。野馬追の行事は旧領内の3つの神社から出陣する「お繰り出し」に始まり、「宵乗り競馬」やこの「お

行列」、「甲冑競馬」、神旗を数百の騎馬武者が取り合う「神旗争奪戦」など多岐にわたる。最終日に放した馬を素手で捕えて神に奉納する「野馬懸」は古式をそのままに留める行事で、「相馬野馬追が国指定重要無形民俗文化財に指定された大きな要因となったそうです」と執行委員会事務局(南相馬市観光交流課)石川博之さんはいう。

相馬野馬追は、伝承では千年以上もの昔、相馬氏の遠祖とされる平将門が下総国小金ヶ原(千葉)で野馬を敵兵に見立てて軍事訓練をしたことに始まるといわれる。捕らえた馬を氏神である妙見に奉納する神事でもあった野馬追は、14世紀に相馬氏がこの地に移ってから継承されてきた。現在では旧相馬中村藩領の区割(郷)にちなみ、宇多郷、北郷、中ノ郷、小高郷、標葉郷それぞれの騎馬武者たちが3神社の御神輿を奉じて野馬追に参加している。

鎮魂と復興の祈りをこめた 2011年「相馬三社野馬追」

近年最大で20万人近くの来場者を集めてきた、相馬野馬追。しかし相馬地方は、2011年、大震災による津波とその後におきた原発事故によって未曾有の被害をこうむり、多くの住民が避難生活を強いられる事態となった。もちろん野

馬追の関係者やその家族、そして馬たちにも多大な犠牲が出ている。

震災から7月23～25日に予定されていた野馬追までは約4カ月。実施は無理と危ぶまれたが、規模を大幅に縮小してこの年も野馬追は行われた。甲冑競馬や神旗争奪戦は取りやめ、騎馬での参加は宇多郷と北郷のみ82騎。他郷では神社での行事だけを執り行った。「こんな時に」「野馬追どころじゃない」という声もあったが、「東日本大震災復興相馬三社野馬追」として実施を決めた。根底には、「犠牲者への鎮魂と地域の復興への思いがありました」という。

翌年には雲雀ヶ原祭場地の緊急時避難準備地区指定が解除となり、全国の牧場や乗馬クラブなどの支援で避難していた馬も帰郷。お行列や甲冑競馬、神旗争奪戦も復活してほぼ例年通りの開催となった。来場者は前年の3万7千人から16万人近くへ回復し、震災以前の水準に戻っている。いまだ多くが帰宅困難地域の標葉郷をはじめとする地区では、避難先から参加する状況は続いているが、野馬追が避難者と故郷を結ぶよりどころになっている。また、小高区では2016年7月の避難指示解除で3割程度ではあるが住民が帰還したことから、2017年、地元での騎馬行列が7年ぶりに再開された。

野馬追はこれまでも、大きな危機を乗り越えてきた歴史をもつ。明治維新では行事の主体だった藩が解体され、追うべき野馬（放牧されていた藩有の馬）がいなくなったが、神社の行事として野馬追は生き残った。神旗争奪戦はこの頃に始まっている。終戦直後は占領軍に配慮し、鎧兜や刀は着けず「武」の要素を極力薄くし、スポーツ色を強めて存続をはかったという。

危機や課題を乗り越えて さらなる継承と発展を

時代の変化や危機に直面しても形を変えながら守り伝えられてきた野馬追は、地域の中で、どんな人々によってどのように担われているのだろうか。

「震災の年の野馬追は、1080回続いて

きたものを、途絶えさせるわけにはいかないという思いでした」。そう振り返る佐藤徳さんは、24歳の時から40年以上、出陣を続けている。本家が野馬追に参加し、親の知人が競走馬を育てていたため馬と接する機会も多く、野馬追は少年時代からの憧れだったという。

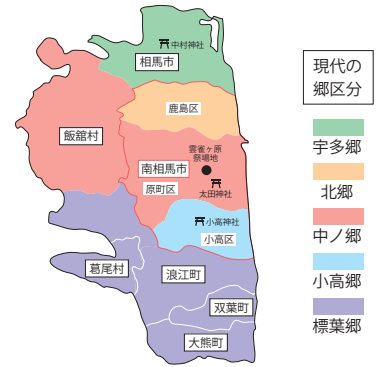
相馬野馬追は総大将を頂点に十数もの役職で構成されている。佐藤さんは中ノ郷騎馬会で順次階層を上がり、8年間幹部役の軍者を務めた。勤めの一方で馬を飼うようになり、自力で厩舎と馬場も整備。仕事をリタイアした今は自分の馬を4頭、人から預かった5頭を飼っている。ちなみに野馬追に出る500頭近くの馬のうち、佐藤さんのような地元厩舎預けの馬も含めて現在4割ほどが自己所有。あとは野馬追が近づくと他所から借りてくるのだそうだ。

江戸時代の具足が多いという高価な鎧兜や馬装も整えなければならず、かかる費用はかなりのものだ。野馬追への参加は世襲でも義務でもなく、自由意志。それだけに家族や周囲の応援とサポートは欠かせない。

「なぜ野馬追を続けてきたのか…、好きだからとしかいいようがない。馬も馬に乗ることも大好きだからね。今も野馬追あつての毎日であり、人生です」と佐藤さんはいう。

震災と事故の痛手を今も抱えながら、復活を遂げた相馬野馬追。もちろん問題や課題もある。騎馬武者中心の祭りであるがゆえに、町に馬と人が集結するのを冷やかに見る住民もいれば、住民が戻れない、戻らない地域では後継者問題も深刻だ。石川さんによれば、観光面では元々地域に宿泊施設が少なく、祭りの一部を見るだけの「通過型」観光から脱却できないことも問題だという。

とはいえ野馬追はやはり相馬の誇りであり、古くから馬事文化が根付いてきた地域と不可分の存在だ。夏が兆してくれば祭りは近い。1カ月を切る頃には騎馬武者たちはみな髭を生やし始め、早朝の町に野馬追の足ならしに向かう蹄の音が響くようになる。今年の夏もまた、野馬追に託す人々の思いは熱い。



現在もかつての相馬藩の行政区だった郷に準拠して、野馬追は運営されている



最終日に小高神社で行われる「野馬懸」。素手で馬を捕らえ、神に奉納する



かつての野馬追の様子。『奥州相馬妙見祭其二 野馬追之図』江戸時代後期（詳細な時期は不明）南相馬市博物館所蔵



野馬懸が行われる小高神社。中世の相馬氏居城跡にあり、土塁など城の面影が残る



2日目の行事を終え、のんびり帰途につく人馬。後ろ姿に満足感と安堵感がにじむ

取材・写真協力/相馬野馬追執行委員会事務局(南相馬市観光交流課)・南相馬市博物館



FAMILY 逢巻382号 2018年4月20日(隔月20日)発行

編集責任者 FAMILY編集委員会 岡崎 友

発行 FUJITSUファミリー会

〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 富士通(株)内

Copyright 2018 FUJITSUファミリー会 [禁無断転載]

<http://jp.fujitsu.com/family/>

※本誌記事中の会社名、各種製品名等は、各社の商標または登録商標です。

※本文にある専門業による情報・意見は、必ずしも富士通・編集委員会の見解を反映したものではありません。

※本誌には、環境に配慮した用紙、植物由来インキ、有害な廃液を出さない本なし印刷方式を採用しています。